

(1) 実施機関名：

国土地理院

(2) 研究課題（または観測項目）名：

（和文）航空機SAR観測

（英文）Observation by airborne SAR

(3) 関連の深い建議の項目：

6 観測基盤と研究推進体制の整備

(1) 観測研究基盤の開発・整備

ア. 観測基盤の整備

(4) その他関連する建議の項目：

(5) 令和5年度までの関連する研究成果（または観測実績）の概要：

全国の活動的な火山について、航空機SARによる観測を年間数箇所ずつ毎年実施し、噴火前の地形情報を取得するとともに、令和元年8月には浅間山の噴火に伴い緊急観測を実施し噴火前後の画像をホームページから公開した。

(6) 本課題の5か年の到達目標：

航空機SARを利用して、全国の活動的な火山における火口等を年間数箇所ずつ毎年観測し、噴火前後の地形情報を蓄積する。

(7) 本課題の5か年計画の概要：

全国の活動的な火山を対象に、過去の観測状況や地形変化を勘案しつつ、航空機SARによる観測を年間数箇所の周期で実施し、火口付近の地形を明らかにするとともに最新の地形情報を蓄積する。また、活発な噴火活動によって災害が発生した際には、噴火前後の地形変化を明らかにする。

(8) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

基本図情報部地図情報技術開発室

他機関との共同研究の有無：無

(9) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：基本図情報部地図情報技術開発室

電話：029-864-1111（機関代表）

e-mail：

URL：<https://www.gsi.go.jp>

(10) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：宮原伐折羅

所属：地理地殻活動研究センター